

夏の忍ヶ丘祭

春の忍ヶ丘祭委員長
現代ビジネス科2年
佐原 美紗咲



新型コロナウイルスの影響で春忍が延期になり、今年初の夏忍の開催になりました。夏忍は今までなかったためゼロからの企画になりましたが、学生たちが楽しめるようにイベントを考え、作り上げました。今年度のテーマは Summer Night～学友とともに楽しい思い出を作ろう～とし、新型コロナウイルスで数々のイベントが中止になったからこそ夏忍では笑顔で楽しんでもらいたいという思いで挑みました。ですがイベント三日前にコロナ感染者数が増えたことで、もともと計画していたイベント内容を変更したりなど、不安もありましたが夏忍を無事開催でき、成功することができたので良かったです。

現在の就職状況

就職支援係

今年度は、新型コロナウイルスの影響も少しずつ変化し、対面での説明会や選考試験も多く開催されるようになりました。現代ビジネス科の学生は、3月から始まった就職活動も長期戦になっていますが、就職戦線を打破するために頑張っているところです。保育科学生については、昨年同様、コロナウイルス感染拡大により、思うように進められない状況にありますが、感染拡大の厳しい環境にも関わらず、資格取得のために実習の受け入れにご協力いただいている方々へ感謝の気持ちを忘れず、頑張ってもらっています。コロナ禍ではありますが、可能な限り多くの園を訪問させていただき、自分に合う園を見つけ、試験に臨んでください。私達も全力でサポートしますので、諦めることなく、前向きに活動していただきたいと思います。

宮崎学園短期大学公認 学友会キャラクター「しのぼん」が誕生

学友会会長 保育科2年 児玉 みさき

この度、学友会オリジナルキャラクターが完成しました！宮短が大好きで短大にあるイチヨウの木に棲みついている妖精「しのぼん」です。本学一体が「忍ヶ丘」と呼ばれていることから「しのぼん」と名付けられました。ポシェットの中の鳥はしのぼんのお友達で宮崎県の鳥、コシジロヤマドリです。このポシェットはお友達の為にしのぼんが作ってあげたということです。

実は恥ずかしがり屋のしのぼんですが、オリジナルソングが流れると上手にダンスを踊ってくれます！今後、学生や各地域の皆さんに親しまれるような存在になってくれるといいなと思います。皆さんもぜひ覚えてくださると嬉しいです。



1年生保護者会の案内

風薫る忍ヶ丘で、令和4年5月28日(土)2年生保護者会が開催されました。お忙しい中、本学にお越しいただきまして、誠に有難うございました。10月29日(土)には1年生保護者会が計画されております。学級主任による個別面談や教務関係等、どうぞ、この機会にご遠慮なくご相談ください。保護者会は「絆・語り合い」を大切にしています。皆さまのご理解・ご協力を願っています。



令和4年度後援会役員一覧

役職名	氏名	学科/学年/クラス	役職名	氏名	学科/学年/クラス	役職名	氏名	学科/学年/クラス
会長	日高 善江	保育科2F	理事	中武 みや子	専攻科福祉	会計	大窪 裕美	現代ビジネス科1現ビ
副会長	森 永博志	現代ビジネス科1	理事	河野 豪	事務局長	会計	高橋 明美	総務部長
副会長	佐々木 由喜子	学生部長	理事	井上 浩義	教務部長	監査	山元 ゆみ	保育科2D
顧問	宗和 太郎	学長	理事	泰田 久史	保育科学科長	監査	佐原 美紀子	現代ビジネス科2ビ
理事	甲斐 聖治	保育科1D	理事	矢田 憲太郎	現代ビジネス科学科長	書記	村社 紅美	保育科1A
理事	堀之内 裕枝	保育科1D	理事	山田 秀人	入試広報部長	書記	立本 裕貴	保育科1B

後援会だより 



学友会キャラクター「しのぼん」と学友会、教職員との記念撮影

「学び」続ける

後援会会長 日高 善江



秋の七草に心和む季節となりましたが、後援会会員の皆様、および関係者の皆様には、日頃より本後援会の活動にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

この度後援会会長を務めさせて頂くことになりました日高と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

「日本一の地方短大」を目指す宮崎学園短期大学の良さは、学生の皆さんが一番実感されている事と思いますが、このコロナの時代だからこそ、ここ宮崎の良さを、短大、地域、一緒になって発信する時です。知恵を出し合い、学びを深め、そして学び続けていく事はあらゆるものつながり、次の時代を生きる支えとなるはずです。

後援会は、学生と大学をつなぎ、学生一人ひとりが少しでも有意義な大学生活が送れますよう、学生の支援をいたします。

今後とも、宮崎学園短期大学後援会活動へのより一層のご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

教えると学ばない

学長 宗和 太郎



私も含めてであるが、大人は教えるのが好きだ。知らない人に教えてあげれば、ありがたがられる気がする。

小さな親切、余計なお世話なのだ。教えられて学ぶことは案外少ない。昭和の常識では教えることが教育であったし、学生にとっては授業に出ることが勉強することだった。そこで本当に学びが起こっているかは真剣に問われなかった。

21世紀の保育・幼児教育は子ども主体の保育と言われ、保育者が子どもに何かを教えるのではなく、子どもがしたいことを追求させる中で様々な学びが起こることを大切にする。教える≠学ぶ、学ぶ=主体の成長という認識が、世界の学校教育・幼児教育を大転換させている。

自分がやりたいこと・知りたいことは、わくわくドキドキの挑戦になり、うまくいってもいなくても学びとなり、次の挑戦へつながるテーマを追う力強い学びになる。そこでは、粘り強さや感情の調整力や他者への共感性や協調性などの「非認知的能力」が育つのである。今、知識と並んで非認知的能力を育て、生涯にわたる主体としての成長を期待するのである。

教えたくなったら、「どうしたらいいと思う?」「なにをやってみたい?」と気づかせる質問に変えて、自分で羽ばたくエンジンを育てよう。

輝ける忍ヶ丘(学生の成長)

保育科

体験実習を終えて

この夏、2か所の園で体験実習をさせていただきました。経験豊富な先生方が保育をする様子を見ながら、私も一緒に保育をさせていただくことで座学では学ぶことの出来ない多くのことを学ぶことができました。

0歳児から5歳児まで各クラスを体験させていただき、年齢に応じた保育が行われていることを改めて実感しました。子どもの性格や個性を尊重し、一人一人に適した保育をすることの意義と大切さを学んだ実習になりました。

この体験から新たな課題も見つけることができたので、より一層勉学に励みたいと思います。



保育科1年
家高 里佳

施設実習を終えて

私は社会福祉法人石井記念友愛園で実習をさせていただきました。乳幼児、小学生、中学生、高校生と様々な年齢の子どもたちと関わることができました。実習を通して年齢に応じての子どもたちへの声掛け、色々な事情を抱え深く傷ついた子どもたちへの寄り添い方などを学び、そのことを実習の中で自分なりに考え実践することができました。また、自分の強みである明るさを存分に発揮することでたくさんの子もたちを笑顔にすることができ、自分の進路への自信にも繋がりました。この実習で学んだことをしっかりと身につけ、活かしていけるように頑張っていきたいです。



保育科2年
河野 翔午

現代ビジネス科

企業実習を終えて

私は米良電機産業株式会社様で企業実習をさせていただきました。

学生同士でどんなインターンシップが魅力的か、どうやってメリットを見出すかなどを話し合い、最終日までにパワーポイントを作成し、社員さんに提案するという活動をさせていただきました。時には行き詰まり、大変だと感じることもありましたが、参加している学生さんと協力して納得のいくものを完成させることが出来ました。その実習の中で自身に不足しているところ、もっとのばせるところを知りました。多くの刺激を受けるとても有意義な5日間になりました。これから先、この実習で学んだことを実践で活かしていけるように心がけていきたいです。



現代ビジネス科1年
木下 いずみ

医療機関実習Ⅱに向けて

医療機関実習Ⅱでは、医療機関実習Ⅰで学んだ患者様とのコミュニケーションや対応の仕方を十分に活かしたいと思っています。例えば、電話や患者様からの質問への対応にはできる限り答えられるように、事前に病院の仕組みやチーム医療の在り方について復習しておくなどの準備を行います。実習先の職員の方と同じような患者対応ができるようになることが私の目標です。10日間という短い時間ですが、将来に役立つ学びを吸収できる貴重な時間です。悔いのないよう一生懸命努力します。また、私たちが新型コロナウイルスの感染源にならないために、感染対策や体調管理を万全に行い、この状況下で実習を受け入れて頂いた医療機関の皆様感謝しながら頑張ります。



現代ビジネス科2年
森 純楓

専攻科(福祉専攻)

介護の魅力を感じたはじめての実習

高齢者と話しができるか不安を抱えながら始まった介護実習でした。少しずつ利用者様のことも分かり、自然な関りができるよう将棋やトランプをしながらコミュニケーションを図る工夫をしました。最終日には、「ありがとう」と何度も言って下さり、その言葉に私は感動し、頑張ってたかったと思いました。この実習では、「利用者様の喜びや満足に繋がる介護を考え実施することで、心が通じあい嬉しい反応となる。そして、再びそれを受け取った介護者側も、喜びを感じる」ということを体験しました。これまでの介護に対するイメージを覆す、すごくやりがいのある魅力的な仕事だと思いました。コロナ禍で、心配された実習でしたが、行くことができて本当に良かったです。



専攻科(福祉専攻)
岩崎 彩乃

教員からのご挨拶

息軒先生と21世紀の保育

安井息軒は偉大な研究者であり教育者でしたが、「保育」についてはどう考えていたのでしょうか。短大駐車場に隣接した旧和田邸出身の平部嶺南(『日向地誌』編纂者、飢肥藩家老等)について調べていたところ、生涯を通して師弟関係にあった二人の往復書簡の中に、ある記述を見つけました。

そして震えるほど驚きました。紙幅の都合上ごく一部ですが、息軒先生は学問の目的について「人材育成や民庶を教え導く等のことは雨露の草木を育てるようにしたい」(引用参考文献 宿志の人 平部嶺南:末永和孝著)と書いています。私の解釈が間違っていなければ、これはまさに「子ども主体」の今日的な保育の方向性と軌を一にするものです。

この地に保育科があり続け、地元へ貢献し続ける学科でありたいと改めて思っています。



保育科長
泰田 久史

現代ビジネス科が生まれ変わりました

今年度入学生から、高校生や保護者、地域社会の多様なニーズを踏まえ、高い専門性を保ちながらより広くて柔軟な学びを提供することを目的に、従前の「ビジネスコース」「医療事務・医療秘書コース」を「実践ビジネスコース」「メディカル秘書コース」「司書・メディアコミュニケーションコース」「大学編入コース」の4つのコースに学科改編しました。選択できるコースがより専門的で幅広くなったことに加え、希望コース選択時期をこれまでの入学願書受付時から、入学直後の丁寧なオリエンテーションで各コースの学びの専門性や学生ひとり一人の興味関心、将来の希望等をじっくりと考えてコースを選択する制度に変えました。この学科改編により、学生がより積極的・主体的に学び、現代ビジネス科の教育の質の向上を更に図りたいと思います。



現代ビジネス科長
矢田 憲太郎

生命と生活に直接関わる専門職、「介護福祉士」を養成しています

「保育士」資格があることを入学条件とする専攻科は、1年間の学修で「介護福祉士」国家資格の取得を目指しています。心身医学や社会制度などの専門的学びは、自身の生活でも必ず役に立ちます。また、医療的ケア及び生活支援技術は、安全や安楽を追求すると共に生命や生活に直接関わる内容で、多職種協働での役割意識や倫理観を育みます。国家試験や修了研究発表会など真剣に取り組む乗り越える経験は、人生において大切な自信に繋がっていると感じさせてくれます。

修了生は、子どもから高齢者、さらに障害者(児)や病児など幅広い福祉分野で活躍しています。これからも、少子高齢時代の即戦力となる頼もしい「介護福祉士」の養成に尽力いたします。



専攻科(福祉専攻)主任
桑迫 信子

新任教員紹介



保育科
中川 志保

今まで、保育者としてたくさん子ども達と関わってきました。子どもたちと過ごした時間は私にとって、何ものにも代え難いものです。今度は、その経験を学生たちに伝えていきたいと思っています。そして、これからは変化の激しい予測困難な社会を迎えます。これからの時代を生きる子どもたちのために、「新しい保育を探求し、保育を変えていく」そんなリーダーシップを取れる保育者の育成を目指していきたいです。



保育科
佐々木 由喜子

音楽を軸とする表現活動の授業では、時として「答えのない」「正解のない」表現に学生たちを誘います。初めは戸惑っていても、予想を遥かに超えた表現も登場して、「すごい!」と感動の輪が広がります。大人の満足のための表現活動にならないように、これまでの方法に囚われず、みんな面白がりながら新しいことに挑戦できる、柔らかな心を持った保育の人材を育てていきたいと思っています。



保育科
星崎 明里

ミュージックセラピーでは、様々な感覚を使って音や音楽を体験することを大切にしています。見る、聴く、触れる、動く、感じる、考える...自分の感覚をたくさん使い、「ワクワク」「ドキドキ」と心も動きます。心動く体験は、子どもたちの「生きる力」を育むために欠かせないものです。これから保育者になる皆さんが「豊かに感じられる心」を持ち続けられる、ワクワクできる授業を行いたいと思っています。



現代ビジネス科
加藤 淳

4月より、宮崎学園短期大学現代ビジネス科の講師として赴任いたしました。私は、生まれも育ちも愛知県であり、学生、社会人を含めて、県外に出たことがありませんでした(宮崎県に初めて来ました)。前職は、地元の大学・短期大学の事務職員であり、直近は、図書館司書をしていました。現代ビジネス科の学生の皆さんには、図書館での経験を踏まえて、司書の仕事についていろいろお伝えできればと考えております。